

## 共同研究 調査・資料

### ■日本常民文化研究所

2019年度は2つの新規共同研究が開始され、ここでは、各共同研究での調査、資料等の写真を掲載した。詳細な研究活動報告を6～23ページに掲載している。

### ◆共同研究 布の製作と利用に関する総合的研究

期間：2019年～ 代表者：昆政明



写真1 会津民俗館資料調査



写真2 出羽の織座米澤民藝館調査

◆共同研究 便所の歴史・民俗に関する総合的研究  
期間：2019年～ 代表者：須崎文代

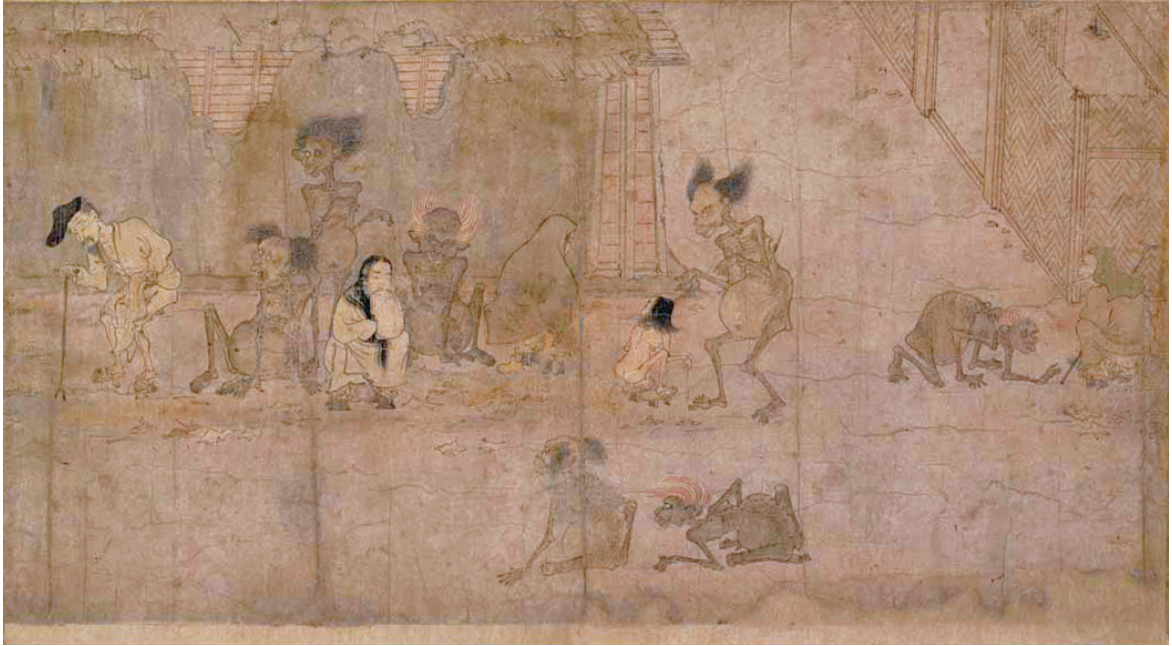


写真1 国宝「餓鬼草紙」(出典/東京国立博物館 TNM イメージアーカイブ)



写真2 重要文化財中村家住宅(沖縄県中頭郡北中城村)フル(豚便所)全体像(須崎撮影/2019年12月)

◆共同研究 日本常民文化研究所所蔵資料からみるフィールド・サイエンスの史的展開  
期間：2016年～ 代表者：泉水英計



写真1 第8回公開研究会「アナキスト？ 構造主義者？——国際的人类学者・馬淵東一とフィールド・リサーチ——」  
山路勝彦氏（関西学院大学 名誉教授）（2019年5月17日）



写真2 第9回公開研究会「岡正雄と民族研究所設立運動」清水昭俊氏（国立民族学博物館名誉教授 神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員）（2019年6月28日）

◆共同研究 二神家・二神島の歴史・民俗研究  
期間：2016年～ 代表者：前田禎彦

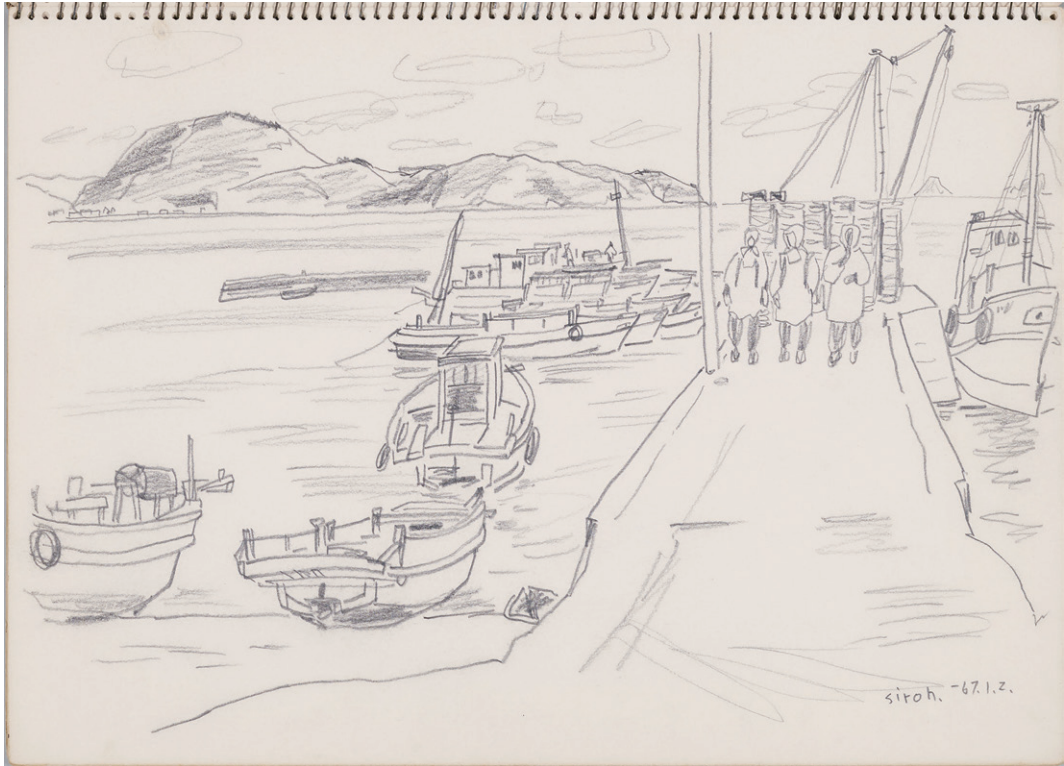


写真1 津和地島のほぼ中央にあった突堤。係船場として利用されていた。今は埋め立てられて無い  
(二神司朗氏画／1967（昭和42）年1月2日・スケッチブックより)



写真2 津和地島西側の海岸。地引網をしているのか？ 後方は怒和島  
(二神司朗氏画／1933（昭和8）年・スケッチブックより)

◆共同研究 海域・海村の景観史に関する総合的研究  
 期間：2015年～ 代表者：安室知



写真1 「能州口郡色知瀧絵図」(常民研所蔵)

◆共同研究 ブラジル日本人入植地の歴史民俗学的研究

期間：2015年4月1日～2019年3月31日(科研費【基盤共同研究B】)、2019年4月1日～(共同研究)



写真1 レジストロ名産の紅茶



写真2 日伯文化協会の正月準備餅つき

◆研究拠点 気仙沼大島漁協文庫の管理と活用  
期間：2016年～ 代表者：佐野賢治



写真1 「第4回漁業史文庫を語る会」会場風景  
(2019年12月21日)



写真2 東北地方特有の“福田”行事を紹介する佐野

◆受託研究 国立研究開発法人水産研究・教育機構所蔵古文書目録作成業務  
期間：2019年12月3日～2020年3月31日（継続） 代表者：安室知



写真1 醤油醸造の压榨袋の実見



写真2 湯浅町役場での資料調査の様子

◆受託研究 三宅村郷土資料公開・保存事業  
期間：2019年7月25日～2020年1月31日（継続） 代表者：内田青蔵



写真1 三宅島錆ヶ浜港の様子



写真2 「七島文庫」の整理作業

## ■国際常民文化研究機構

国際常民文化研究機構では、公募により採択されたプロジェクト型共同研究が進められている。地域の研究者を助成する目的で「共同研究（奨励）」も合わせて行っている（研究活動報告 46～55・68～73 ページ参照）。

## ◆共同研究（一般）「台湾の「海女（ハイルー）」に関する民族誌的研究

——東アジア・環太平洋地域の海女研究構築を目指して——

研究・成果報告期間：2018年4月1日～2022年3月31日 代表者：藤川美代子



写真1 石花菜を採る女性（許焜山撮影／新北市貢寮区）



写真2 真水で洗った石花菜を天日干しにする（藤川美代子撮影／新北市貢寮区）

◆共同研究（一般）「民具の機能分析に関する基礎的研究」

研究・成果報告期間：2017年4月1日～2021年3月31日 代表者：神野善治

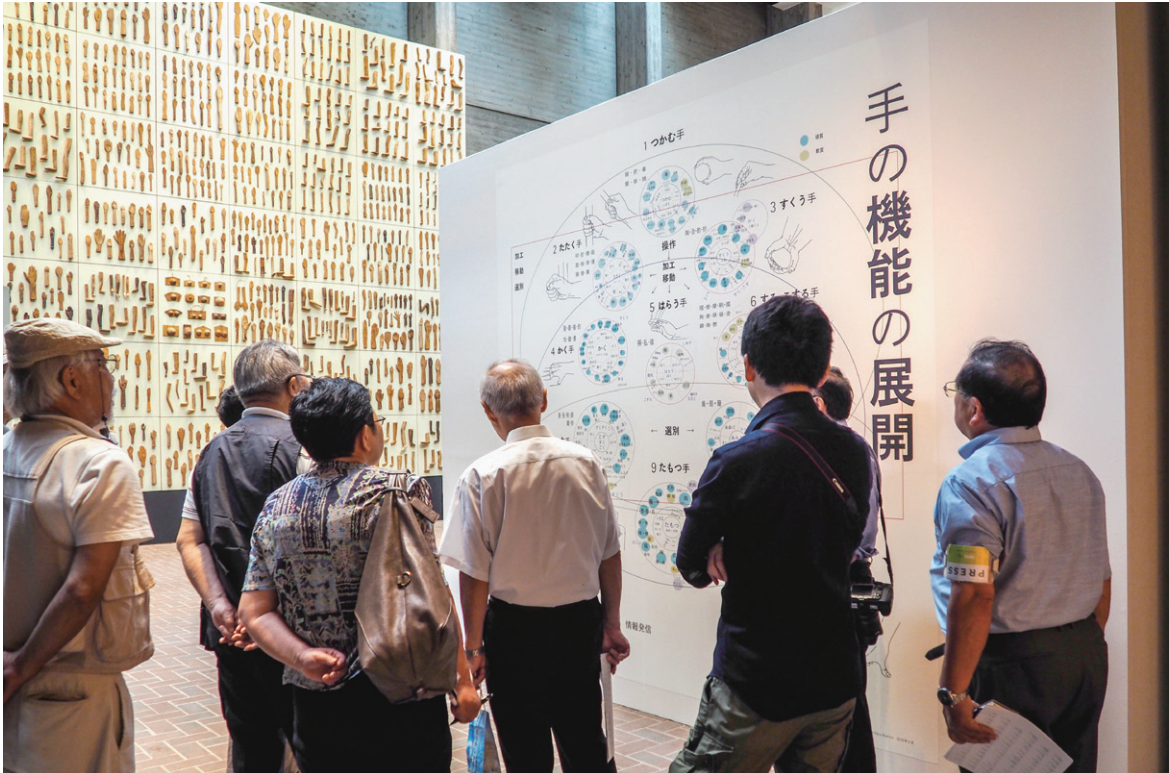


写真1 研究班代表の神野が監修した展覧会「くらしの造形20 手のかたち・手のちから」展をメンバーで見学、人の手の「かたち（形態・姿）」と「ちから（機能・能力）」を民具の機能に照らし合わせて検討を行った（於：武蔵野美術大学）



写真2 大佐渡北海岸地域の紡織用具を中心とした紡織習俗の資料について、元館長の柳平則子氏から聞き取り調査した（於：佐渡市 相川郷土博物館）



◆共同研究（奨励）「ブラジル国サンパウロ州レジストロ植民地における  
民具からみた日本移民の生活史の研究」  
研究・成果報告期間：2019年4月1日～2022年3月31日 代表者：福澤一興



写真1 持ち主より、ココア、マンジョカ等の絞り機の説明を受ける脇岡明美（ブラジル班員：トメアスー植民地／2020年1月8日）



写真2 森林伐採具。入植後、森林伐採に使用された様々な斧（バストス山中三郎記念地域史料館／2019年12月22日）

◆共同研究（奨励）「熊野水軍小山家文書の総合的研究」

研究・成果報告期間：2018年4月1日～2021年3月31日 代表者：坂本亮太



写真1 軍記・語り物研究会におけるシンポジウムの様子。佐藤報告分（2019年8月28日）



写真2 和歌山県立博物館での文書調査（2020年1月24日～26日）

◆共同研究（奨励）「昭和戦前期の青年層における民俗学の受容・活用についての研究」  
研究・成果報告期間：2017年4月1日～2020年3月31日 代表者：丸山泰明



写真1 第6回共同研究フォーラム



写真2 フォーラム記念写真

## 「海洋都市横浜 うみ博 2019」

期間 2019年7月20日(土)～7月21日(日)

会場 横浜港 大さん橋ホールエントランスホール・神奈川大学ブース

海洋都市横浜うみ博協議会主催の「海洋都市横浜 うみ博 2019」に、「神奈川湊と横浜港」として本研究所所蔵の菱垣廻船模型と中国船に加え、「三国丸」を出展し、ワークショップを開催した(報告文34ページ参照)。



写真1 展示会場 菱垣廻船模型は逆風帆走の状態



写真2 右舷前方からの風を想定した帆装復元



写真3 帆の上げ下ろし体験



写真4 帆を下ろした状態



写真5 大賑わいの体験イベント



写真6 展示模型の組み立て

## 収蔵資料展示「旅のおみやげ」

期間 2019年3月14日(木)～9月30日(月)

会場 神奈川大学横浜キャンパス3号館 神奈川大学日本常民文化研究所展示室

アチック・ミュージアムにおける研究の出発点となった郷土玩具を「旅のおみやげ」展として、張子人形・土人形・木彫を中心に解説書とともに展示紹介をした(報告文36ページ参照)。



写真1 西郷南洲翁之像(資料番号:042-40-2006)



写真2 木の葉猿(資料番号:042-43-2006)



写真3 米食いねずみ(資料番号:042-44-2006)

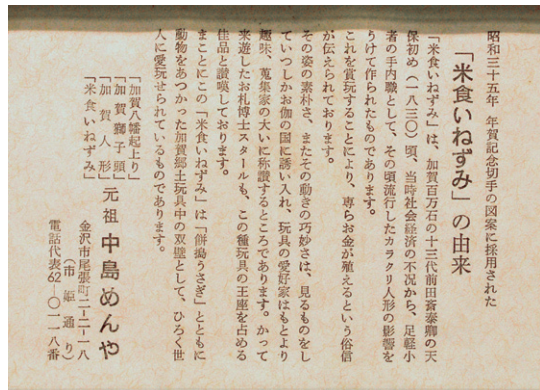


写真4 米食いねずみ解説書



写真5 三春駒(資料番号:042-61-2006)

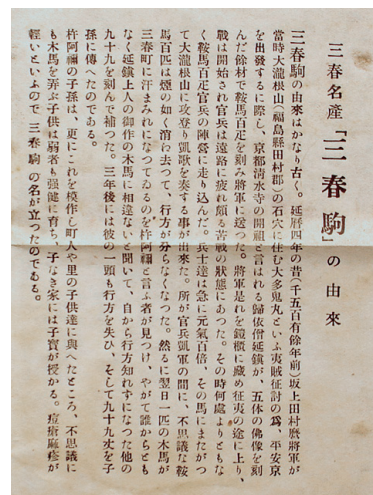


写真6 三春駒解説書

## 収蔵資料展示「大地震となまず絵」

期間 2019年10月1日(火)～11月30日(土)

会場 神奈川大学横浜キャンパス3号館1階展示ホール 神奈川大学日本常民文化研究所展示室

「なまず絵」は、安政2(1855)年の安政江戸地震後に出回った、地震に関するユーモラスな風刺版画である。本研究所が所蔵する「なまず絵」をひろく紹介するために公開展示した。

大地震を経験した江戸の庶民が、地震をどのようにとらえたか、地震による出来事に対する心情がどのようなであったか、を感じていただきたい(報告文37ページ参照)。



写真1 恵比寿天申訳之記



写真2 鹿島大明神の瓢箪鏡



写真3 弁慶なまづ道具



写真4 三職よろこび餅

## オープンキャンパス 国際日本学部歴史民俗学科 「古文書・民具の見学・体験ツアー」

期間 2019年8月8日(木)～8月10日(土) 12:00～13:00、13:15～14:15

会場 神奈川大学横浜キャンパス3号館B104室、地下2階 日本常民文化研究所古文書修復室

国際日本学部歴史民俗学科(2020年4月開設)の授業で活用する、常民研および非文字資料センターの所蔵資料を実際に見て触れて体感する紹介イベントが行われた(報告文40ページ参照。動画/Kanagawa University Official 歴史民俗学科「古文書・民具の見学・体験ツアー」<https://youtu.be/BPviRGy0LDQ>)。



写真1 前田所員によるツアー概要の説明



写真2 古文書修復室にて細工物や小絵馬など本研究所の所蔵資料を解説



写真3 関口所員による古文書の解説



写真4 船模型や民具などが収められている収蔵庫の見学



写真5 院生による古文書修復「裏打ち」のデモンストラーション



写真6 紙縫の作成実習とくずし字の解読を体験